

岡山県感染症週報 2020年第16週 (4月13日～4月19日)

【お知らせ】 次週、2020年第17週(4/20～4/26)の感染症週報は、2020年5月7日(木)にホームページへ掲載いたします。

◆2020年 第16週 (4/13～4/19) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第14週 5類感染症 アメーバ赤痢 1名 (70代 男)

梅毒 3名 (20代 男 1名、40代 男 2名)

第16週 2類感染症 結核 4名 (40代 男 1名、50代 男 1名、80代 女 1名、90代 女 1名)

指定感染症 新型コロナウイルス感染症 4名 (20代 女 1名、50代 男 1名、70代 男 1名、年代・性別非公表 1名)

1. [新型コロナウイルス感染症](#)は、第16週に4名の報告があり、2020年第16週までの累計報告数は19名となりました。岡山県内の発生状況など詳しくは「[今週の注目感染症](#)」をご覧ください。

ゴールデンウィーク期間中の移動や帰省の自粛について

* 新型コロナウイルス感染症が、地域を超えて感染拡大することを防ぐために *

- ・県境を越えた移動をしない。
- ・家族、親戚、友人に会うための移動はしない。
- ・帰省もしない。観光地、海、山へも行かない。

以上の点について県民の皆さまのご協力を強くお願いします。

令和2年4月23日 全国知事会新型コロナウイルス緊急対策本部
「ゴールデンウィーク緊急要請」より

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★	RSウイルス感染症		
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★	ヘルパンギーナ		
流行性耳下腺炎		★	急性出血性結膜炎		
流行性角結膜炎			細菌性髄膜炎		
無菌性髄膜炎			マイコプラズマ肺炎		
クラミジア肺炎			感染性胃腸炎(ロタウイルス)		

【記号の説明】 前週からの推移： ：大幅な増加 ：増加 ：ほぼ増減なし ：減少 ：大幅な減少
大幅：前週比100%以上の増減 増加・減少：前週比10～100%未満の増減

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。(発生数が多いことを示すものではありません。)
空白：発生なし ★：わずか ★★：少し ★★★：やや多い ★★★★：多い ★★★★★：非常に多い

今週の注目感染症

★新型コロナウイルス感染症

●新型コロナウイルス感染症とは

新型コロナウイルス感染症は、2019年12月に中華人民共和国湖北省武漢市において確認されて以降、世界中で感染が拡大している呼吸器症状等を呈する感染症です。日本では、2020年1月15日に1例目の感染者が確認されました。一般的な状況における感染経路の中心は、飛沫感染と接触感染が考えられますが、閉鎖空間において近距離で多くの人と会話する等の一定の環境下であれば、咳やくしゃみ等の症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。

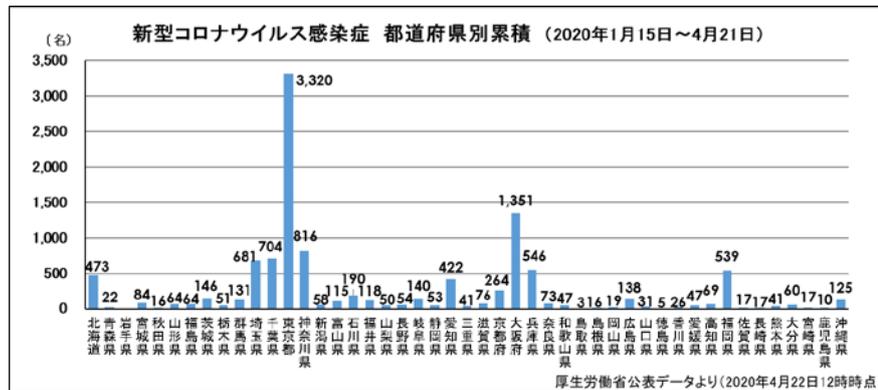
●症状

1～14日（一般的には約5日）の潜伏期間の後に発熱、咳、肺炎症状、全身倦怠感などが出現します。国内の症例では、発熱や呼吸器症状が1週間前後持続することが多く、強い倦怠感を訴える方が多いようです。高齢者や基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患など）のある方がり患すると、重症化しやすいことが分かっており、注意が必要です。他方、感染しても息苦しさなどを認めない軽症例や無症状の方も多くみられます。

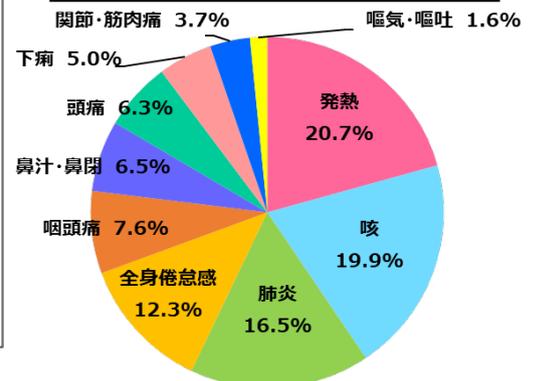
●発生状況

・全国

2020年4月22日12時時点で、国内感染者は累計で11,496名（チャーター便、空港検疫含む）、国内死亡者は277名となっています（厚生労働省ホームページより）。

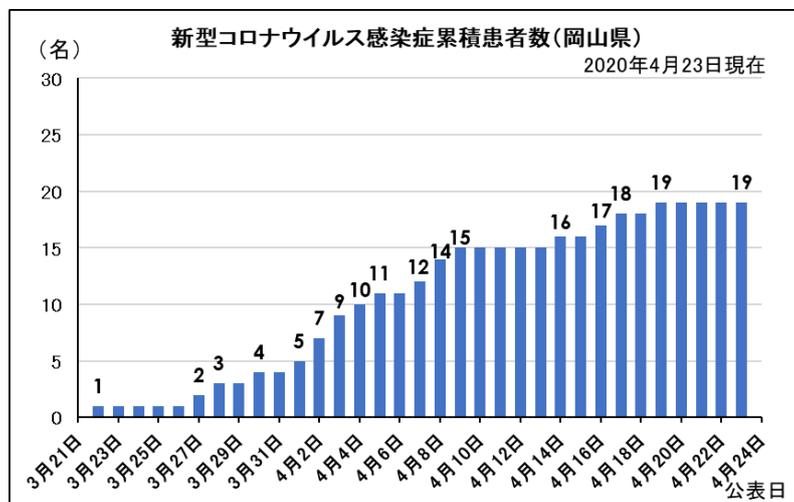


新型コロナウイルス感染症の主な症状* (全国、n=516)



・岡山県(最新情報)

2020年4月23日現在までで、岡山県内では19名（男性12名、女性6名、性別非公表1名）の新型コロナウイルス感染症患者が発生しました。



公表順	公表日	年代	性別	居住地	主な症状	行動歴など
1	3月22日	60代	女性	岡山市	発熱	スペイン
2	3月27日	50代	男性	里庄町	咳、倦怠感、味覚・嗅覚障害	フィリピン
3	3月28日	40代	男性	岡山市	発熱、肺炎	東京都、大阪府、京都府
4	3月30日	20代	男性	玉野市	無症状	京都府
5	4月1日	50代	男性	早島町	発熱、咳、全身倦怠感、頭痛、筋肉痛	沖縄県
6	4月2日	40代	女性	早島町	無症状	5の接触者
7	4月2日	10代	女性	早島町	無症状	沖縄県
8	4月3日	60代	男性	岡山市	発熱、倦怠感	東京都
9	4月3日	20代	女性	岡山市	発熱、倦怠感	アメリカ合衆国
10	4月4日	50代	男性	岡山市	発熱、倦怠感、嗅覚障害	
11	4月5日	50代	男性	岡山市	発熱	東京都
12	4月7日	80代	男性	岡山市	無症状	10の接触者
13	4月8日	30代	男性	東京都	発熱、倦怠感、咽頭痛	東京都、福岡県
14	4月8日	20代	男性	岡山市	発熱	広島県
15	4月9日	20代	女性	岡山市	発熱、咽頭痛	京都府
16	4月14日	70代	男性	岡山市	発熱、倦怠感	
17	4月16日	50代	男性	岡山市	発熱、倦怠感	北海道、東京都、兵庫県(神戸市)
18	4月17日	20代	女性	岡山市	鼻水、味覚・嗅覚障害	東京都
19	4月19日	岡山市非公表	岡山市非公表	岡山市	無症状	18の接触者

※国立感染症研究所 HP「感染症発生動向調査及び積極的疫学調査により報告された新型コロナウイルス感染症確定症例 516 例の記述疫学(2020年3月23日現在)(4月6日掲載)より

【新型コロナウイルスによる感染症について】

現在、世界各国で、新型コロナウイルスの感染者が報告されています。

日本でも緊急事態宣言が出されるなど、多くの感染者が発生しており、岡山県でも感染者が確認されているところです。

本疾患の予防には、外出をできるだけひかえ、やむを得ず外出する場合はマスクを着用し、密閉空間・密集場所・密接場面の3条件(3つの密)の重なりを避けることが重要です。また、手洗い(アルコール消毒も有効)や咳エチケットなど、通常の感染症予防対策の徹底も心がけてください。

次のいずれかに該当する方は、医療機関を受診する前に、帰国者・接触者相談センターへ連絡してください。

- 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続いている。
(解熱剤を服用しつづけなければならない場合も同様)
- 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。

※高齢者や糖尿病、心不全、呼吸器疾患などの基礎疾患のある方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方は、重症化しやすいことから、上記の状態が2日程度続く場合は、まずは、かかりつけ医にご相談ください。また、妊婦の方についても、念のため同様にお考えください。

※症状がある方は、仕事や学校を休んでいただき、外出やイベントなどへの参加は控えてください。

＜帰国者・接触者相談センター連絡先(24時間対応)＞

令和2年4月24日現在

施設名	電話番号	FAX番号	所管の市町村	
岡山市保健所	086-803-1360	086-803-1337	岡山市	
倉敷市保健所	086-434-9819	086-434-9805	倉敷市	
備前保健所	086-272-3934	086-271-0317	玉野市、瀬戸内市、吉備中央町	
備前保健所東備支所	0869-92-5180	0869-92-0100	備前市、赤磐市、和気町	
備中保健所	086-434-7072 注1	086-434-7024 注2	086-425-1941	総社市、早島町
備中保健所井笠支所	0865-69-1675	086-434-7072 (土日祝日の9時～17時のみ)	0865-63-5750	笠岡市、井原市、浅口市、里庄町、矢掛町
備北保健所	0866-21-2836		0866-22-8098	高梁市
備北保健所新見支所	0867-72-5691		0867-72-8537	新見市
真庭保健所	0867-44-2990	0867-44-2917	真庭市、新庄村	
美作保健所	0868-23-0163	0868-23-6129	津山市、鏡野町、久米南町、美咲町	
美作保健所勝英支所	0868-73-4054	0868-72-3731	美作市、勝央町、奈義町、西粟倉村	

※岡山市保健所及び倉敷市保健所は、平日の21時～9時及び土日祝日の17時～9時は留守番電話につながりますので、応答メッセージに従ってください。

※備中保健所(井笠支所含む)及び備北保健所(新見支所含む)は17時～9時は留守番電話につながりますので、応答メッセージに従ってください。

※FAXの受付時間は、平日9時～17時です。

注1 平日9時～17時

注2 注1以外

＜関連リンク＞

[新型コロナウイルス感染症について\(岡山県健康推進課\)](#)

[新型コロナウイルス感染症について\(厚生労働省\)](#)

なお、新型コロナウイルスによる感染症について不安がある場合など、一般的なお問い合わせについては下記の岡山県の相談窓口をご活用ください。

新型コロナウイルス感染症電話相談窓口(24時間対応)

電話: 086-226-7877 FAX: 086-225-7283

外出はできるだけひかえ、やむを得ず外出する場合には、マスクを着用し・・・

①換気の悪い 密閉空間



②多数が集まる 密集場所



③間近で会話や 発声をする 密接場面



上記の3つの条件(3つの密)が重なるような場所を避けましょう!

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「咳エチケット」です。

手洗い

手洗いの前に
・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう



1 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



2 手の甲をのばすようにこすります。



3 指先・爪の間を念入りにこすります。



4 指の間を洗います。



5 親指と手のひらをねじり洗いします。



6 手首も忘れずに洗います。

手洗後は十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよくふき取って乾かします。

咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう

他の人にうつさないために!



マスクを着用する
(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う



何もせずに
咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを
手でおさえる

風しんの抗体検査(無料)を受けましょう!

<妊娠を希望する女性や同居する家族の方>

岡山県・岡山市・倉敷市では、先天性風しん症候群(CRS)※の予防を目的として、**風しんの無料抗体検査**を実施しています。
県内の抗体検査実施医療機関において、窓口で費用を負担することなく検査を受けることができます。検査の詳細は、下記のホームページ

岡山市・倉敷市以外 → [風しんの無料抗体検査が受けられます](#) (岡山県健康推進課)

岡山市 → [風しんの無料抗体検査](#)

倉敷市 → [風しん抗体検査について](#) をご覧ください。

<1962(昭和37)年4月2日から1979(昭和54)年4月1日までに生まれた男性>

風しんの抗体保有率が低い1962年4月2日から1979年4月1日までに生まれた男性に対して、まずは**無料で抗体検査**を受け、**抗体価が低い場合は風しんの予防接種を無料で受けることができる**制度が、全国的に始まりました(2019年4月から2022年3月31日まで)。

市町村から対象者に、順次風しんクーポン券が送付されることとなっており、以下のリストに掲載されている医療機関で、無料で抗体検査が受けられます。

[市町村から届いたクーポン券を使用できる岡山県内の医療機関リスト](#)

※妊娠初期に風しんに罹患すると、出生児に先天性風しん症候群(CRS)と総称される障がいを引き起こすことがあります。先天性心疾患、難聴、白内障が3大症状です。

岡山県の2019年4月~2020年1月の風しんのクーポン使用実績(抗体検査)は、18.0%と未だに低い状況です!
CRSを防ぐためにも、必要な方は確実に予防接種を受けましょう!

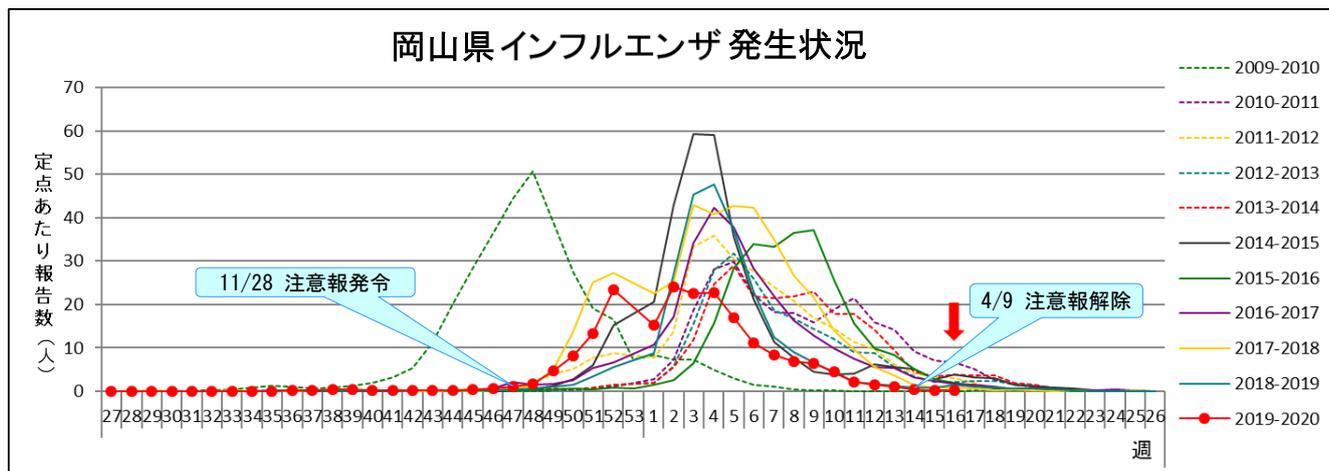
[風しんの追加的対策について\(厚生労働省\)](#)
[風疹に関する疫学情報\(2020年\)\(国立感染症研究所\)](#)



© 岡山県「ももっち」

岡山県 インフルエンザ発生状況

(2019/20 年シーズン流行のまとめ)



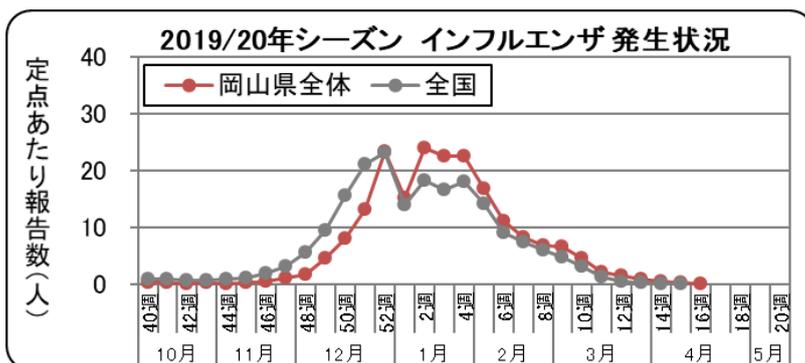
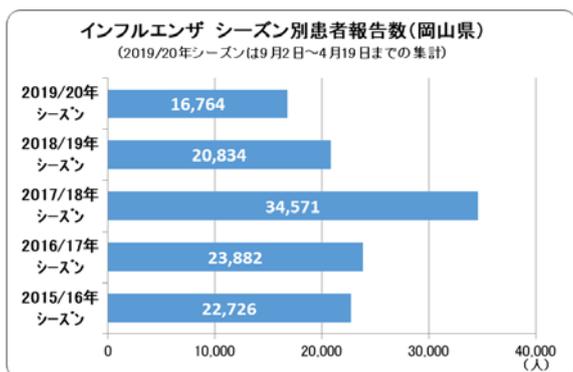
※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第 27 週 ~ 翌年第 26 週で、グラフを作成しています。

2019/20 年シーズン(2019/9/2~2020/8/30)のうち、2020 年 4 月 19 日までの岡山県におけるインフルエンザの発生動向をまとめました(県内 84 定点医療機関報告)。

今シーズン、岡山県の患者報告数は、16,764 人となり、過去 5 シーズンで最も少ない報告数となりました。2019 年第 36 週(9/2~9/8)に初めての患者が報告されてから、散発的に患者が発生しました。第 47 週(11/18~11/24)には定点あたり 1.15 人となり、岡山県の注意報発令基準である定点あたり 1.00 人を上回ったことから、11 月 28 日に「インフルエンザ注意報」を発令しました。過去 10 シーズンと比較すると、2009/10 年シーズンに次いで 2 番目の早さで流行期に入り、その後、流行が徐々に拡大しました。

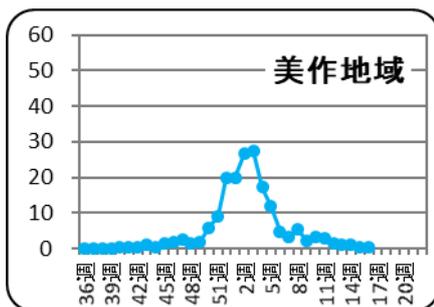
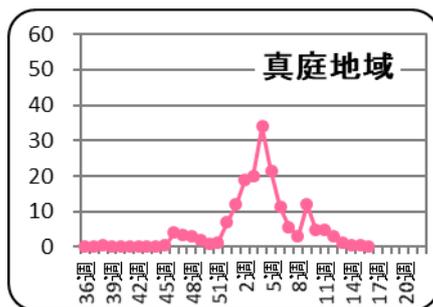
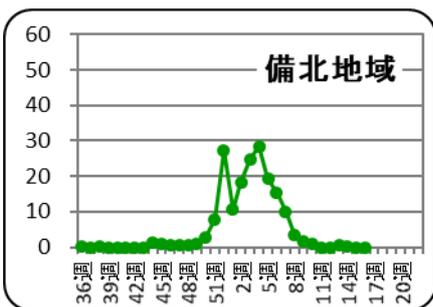
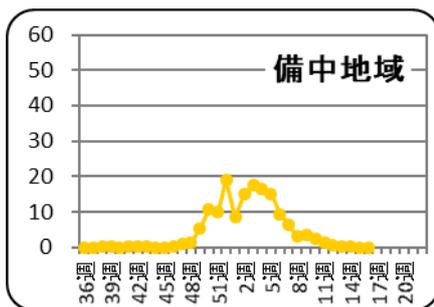
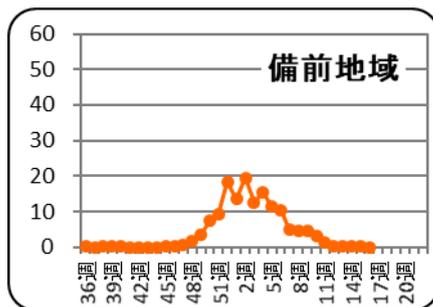
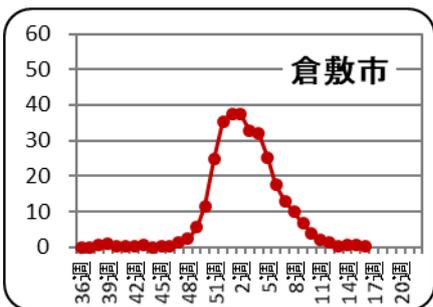
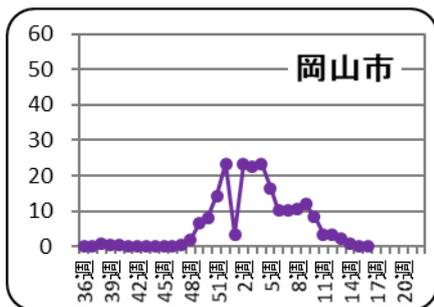
2020 年第 2 週(1/6~1/12)の定点あたり 24.01 人をピークとして、第 4 週(1/20~1/26)以降、警報発令基準の 30.00 人を超過することなく患者数は減少に転じました。警報発令に至らなかったのは、2010/11 年シーズン以来 9 シーズンぶりとなります。その後、第 13 週(3/23~3/29)には 0.98 人、第 14 週(3/30~4/5)には 0.45 人と、2 週連続して定点あたり 1.00 人を下回ったため、県内に発令していた「インフルエンザ注意報」を 4 月 9 日をもって解除しました。

全国では、2019 年第 37 週(9/9~9/15)に一度定点あたり 1.17 人となりましたが、これは沖縄県での局地的な流行による影響を強く受けたものとされ、流行入りとは見なされませんでした。その後は第 39 週(9/23~9/29)から定点あたり 1.00 人未満となっていました。第 45 週(11/4~11/10)に定点あたり 1.03 人となり、全国的な流行の指標である 1.00 人を上回ったため、流行シーズンに入りました。その後、第 52 週(12/23~12/29)に 23.24 人となり、流行のピークを迎えました。以降、患者数は若干の増減をしながら減少し、2020 年第 12 週(3/16~3/22)には定点あたり 0.54 人となり、1.00 人を下回りました。



1. 地域別発生状況

地域別でみると、2019年第36週(9/2～9/8)からすでに散発的に患者が報告され、全県的に流行が拡大していきました。第47週(11/18～11/24)には、流行開始の指標値(定点あたり1.00人)を超え(1.15人)、県内全域で流行期に入りました。その後、患者は増加をつづけ、各地域のピーク時の定点あたり報告数は、岡山市23.45人(第4週)、倉敷市37.56人(第1週)、備前地域19.47人(第2週)、備中地域19.17人(第52週)、備北地域28.50人(第4週)、真庭地域34.00人(第4週)、美作地域27.50人(第3週)でした。各地域でピーク時期にばらつきはあったものの、第4週以降は各地域とも増減を繰り返しながら減少しました。



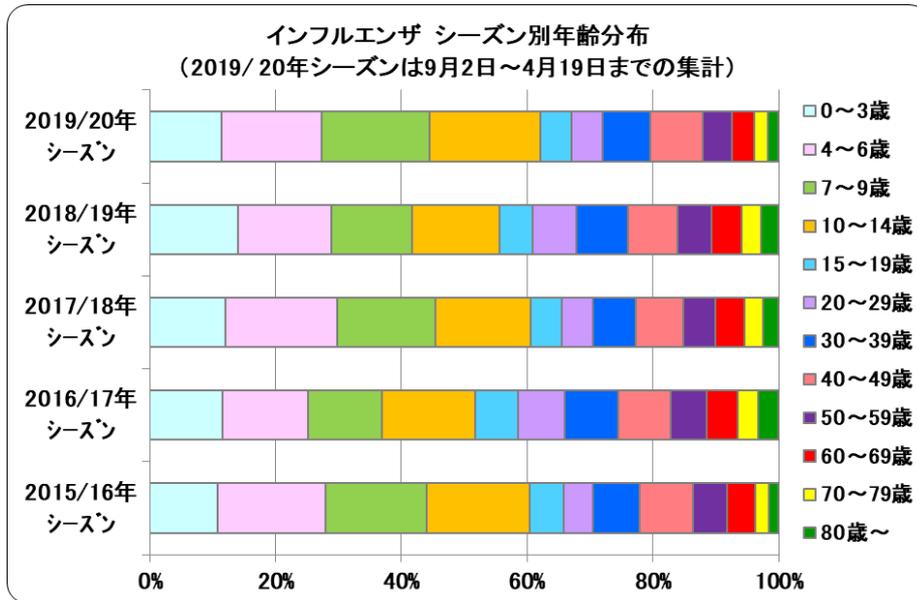
※感染症発生動向調査は、岡山県を7つのブロックに分けて情報収集しています。



- ・岡山市
- ・倉敷市
- ・備前地域(オレンジ)
- ・備中地域(黄)
- ・備北地域(緑)
- ・真庭地域(ピンク)
- ・美作地域(青)

2. 年齢別発生状況

年齢別割合は、10～14歳(17.7%)、7～9歳(17.1%)、4～6歳(16.0%)、0～3歳(11.4%)の順で多かったですが、4～14歳ではほぼ同程度の割合でした。昨シーズンと比較して、4歳～14歳の年齢層の割合が増加しました。



※インフルエンザシーズンは、第36週から翌年第35週までを1シーズンとして集計しています。

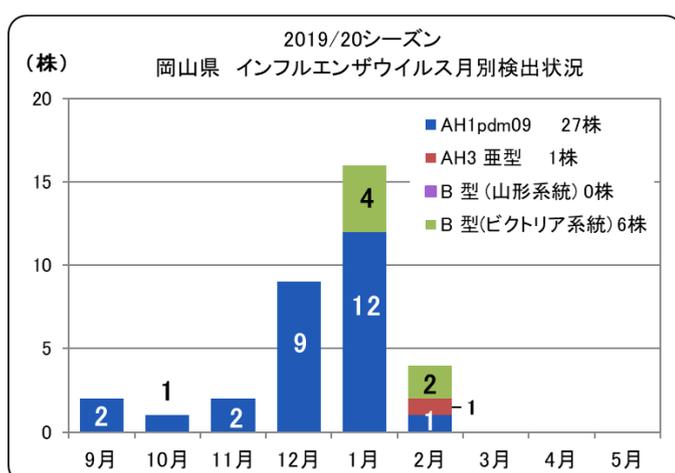
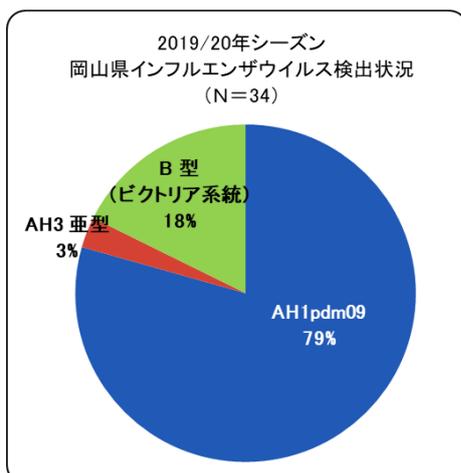
3. インフルエンザウイルス検出状況

今シーズンのうち、2020年4月19日までに岡山県環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルス34株の内訳は、AH1pdm09が27株(79%)で最も多く、次いでB型(ビクトリア系統)6株(18%)、AH3亜型1株(3%)でした。昨シーズンは、A型が主流で、シーズン初めはAH1pdm09、その後はAH3亜型が流行しましたが、今シーズンは、AH1pdm09が主流でした。

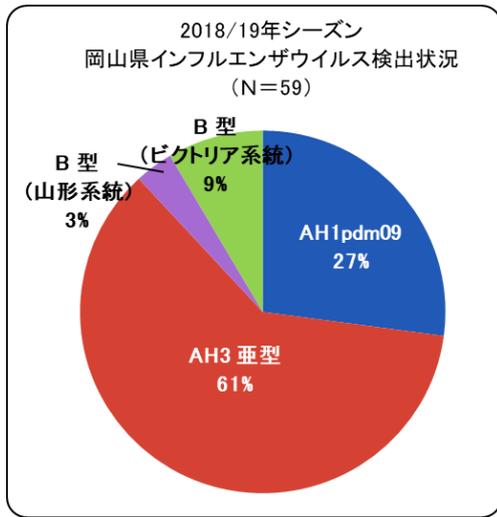
月別検出状況は、AH1pdm09が9月から検出され始め、12月まではAH1pdm09のみでしたが、1月からB型(ビクトリア系統)の検出が見られました。

全国で今シーズン検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09 4,508株(88.0%)、AH3亜型117株(2.3%)、B型481株[ビクトリア系統474株、山形系統3株、系統不明4株](9.4%)、C型13株(0.3%)、A型亜型不明4株(0.08%)の順でした。昨シーズンは、1月初旬までは2種類のA型(AH1pdm09およびAH3亜型)がほぼ同程度流行し、1月中旬以降はAH3亜型が主流となりましたが、今シーズンは、AH1pdm09がシーズンを通して主流となりました(2020年4月20日現在)。

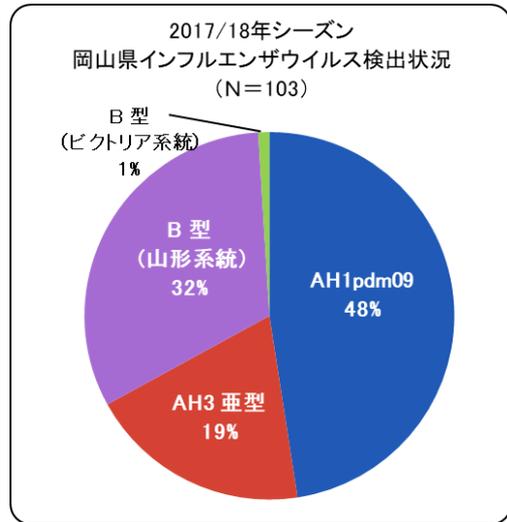
【2019/20年シーズン】



【2018/19年シーズン】

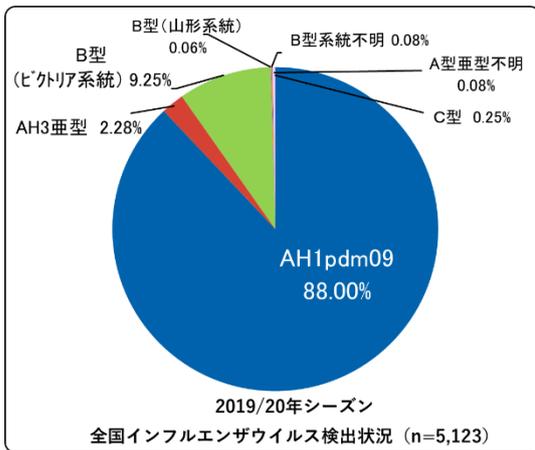


【2017/18年シーズン】

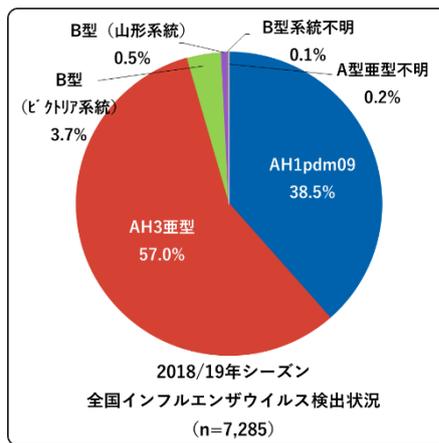


＜全国のインフルエンザウイルス検出状況＞

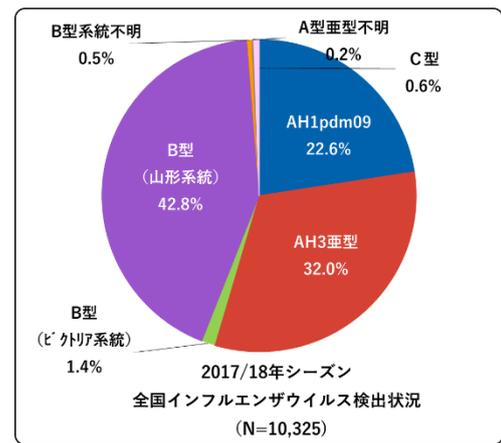
【2019/20年シーズン】



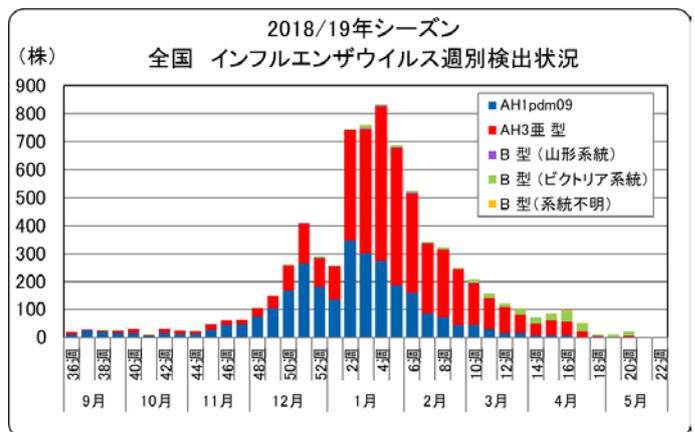
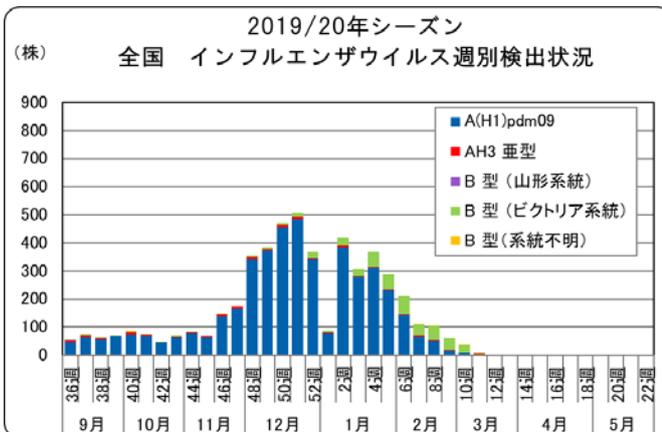
【2018/19年シーズン】



【2017/18年シーズン】

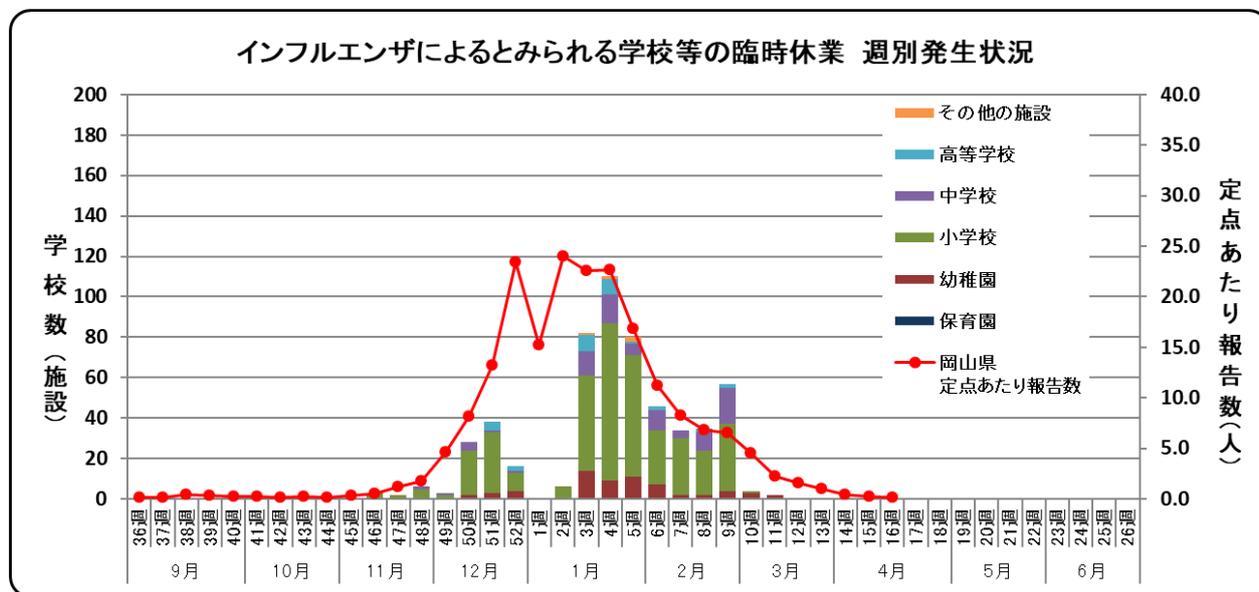


2019/20年シーズンは
2020年4月20日現在



4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

今シーズンのうち、2020年4月19日までのインフルエンザによるとみられる臨時休業は555施設で、昨シーズン(660施設)より減少しました。施設別では、保育園0施設、幼稚園64施設、小学校376施設、中学校82施設、高等学校29施設、その他4施設でした。初発は2019年9月30日で、昨シーズン(9月26日)とほぼ同じ時期の報告となり、今シーズンのピークには1週間に110施設の報告がありました。



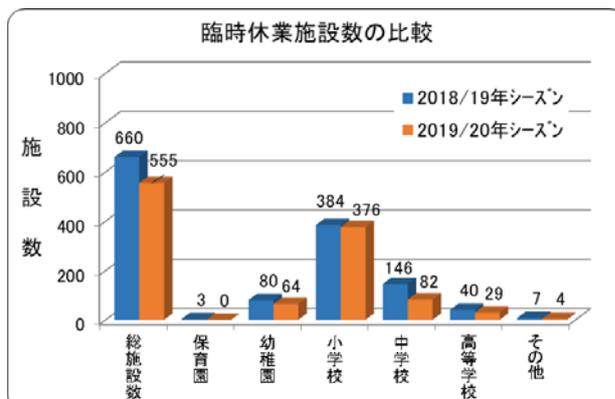
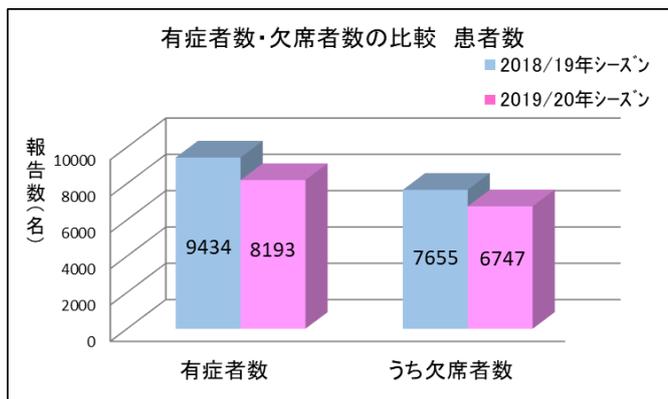
1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています

地域名*	有症者数	うち欠席者数	施設数合計	休園・休校	学年閉鎖	学級閉鎖	初発年月日
岡山県全体	8,193	6,747	555	17	124	414	R1.9.30
岡山市	3,944	3,239	232	3	29	200	R1.9.30
倉敷市	1,586	1,347	115	1	10	104	R1.10.15
備前地域	721	622	63	1	18	44	R1.11.21
備中地域	961	752	72	2	24	46	R1.11.11
備北地域	167	140	16	5	8	3	R1.12.19
真庭地域	239	184	18	3	14	1	R1.11.13
美作地域	575	463	39	2	21	16	R1.10.8

2) 臨時休業施設数の内訳 累計:555 施設

	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他
施設数	0	64	376	82	29	4



5. インフルエンザによる入院患者報告数(県内基幹定点 5医療機関による報告)

今シーズンのうち、2020年4月19日までのインフルエンザによる入院患者数は、133名であり、昨シーズン(267名)のほぼ半数となりました。週別では、第2週(1/6~1/12)に入院患者数が今シーズン最多の21名となりました。今シーズンの70歳以上の入院患者数は、55名であり、入院患者数全体の41%を占めました。

また、今シーズンのインフルエンザ脳症(第5類感染症の全数把握対象疾患である急性脳炎の届出において、病原体としてインフルエンザウイルスの記載があるもの)の報告は、岡山県では今シーズンは5名(2017/18年シーズン:4名、2018/19年シーズン:3名)と、例年と同程度の報告数となりました。全国では250名が報告され、過去2シーズンの同期間の報告数(2017/18年シーズン:170名、2018/19年シーズン:231名)を上回っていました。

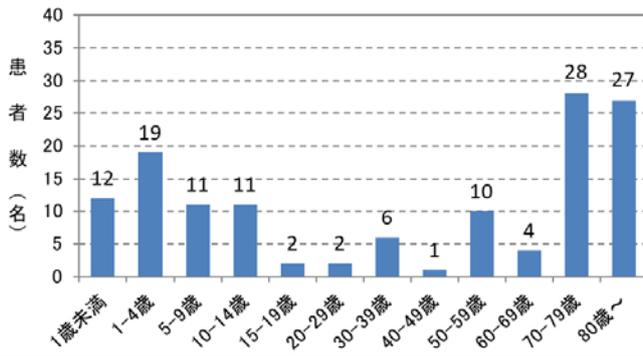
岡山県では今シーズンのインフルエンザ脳症はすべてインフルエンザA型を病原体とするものであり、全国においても、インフルエンザA型を病原体とするものが89%を占めていました。

【2019/20年シーズン(2019年9月2日~2020年4月19日)までの入院した患者の累計数】

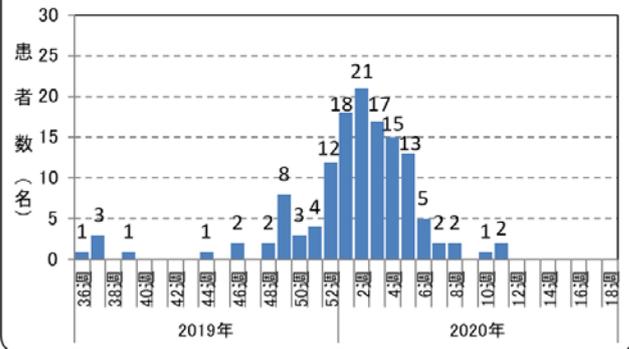
年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	12	19	11	11	2	2	6	1	10	4	28	27	133
ICU入室	2		1				1		3		5		12
人工呼吸器の利用	1	3	3						2		4	2	15
頭部CT検査(予定含)	2	3		1	1		4		1		3	1	16
頭部MRI検査(予定含)		4	2	4	1		2			1	3	1	18
脳波検査(予定含)				1									1
いずれにも該当せず	8	9	7	7	1	2	2	1	7	3	18	23	88

*重複あり

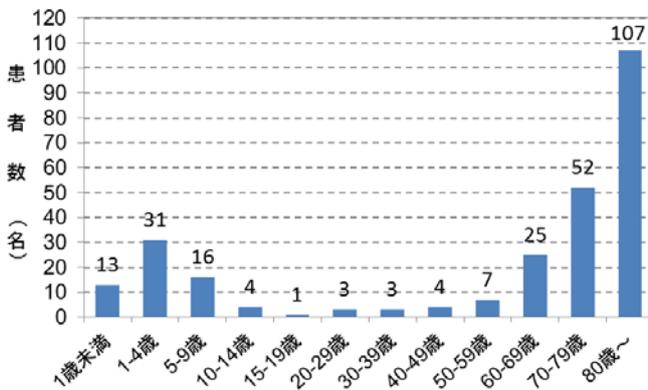
2019/20年シーズン 年齢別入院患者数



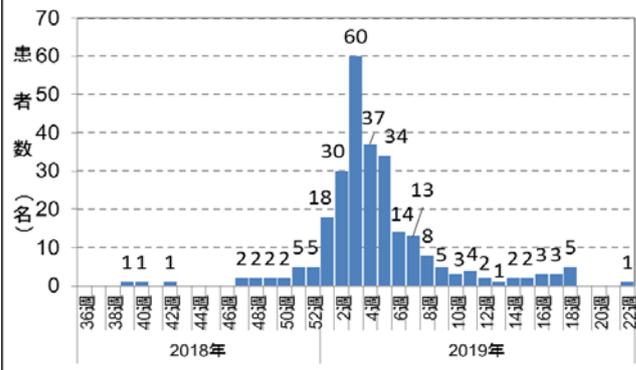
2019/20年シーズン 週別入院患者数の推移



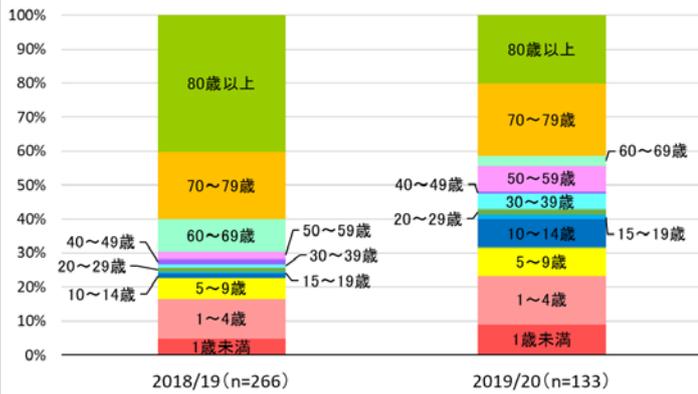
2018/19年シーズン 年齢別入院患者数



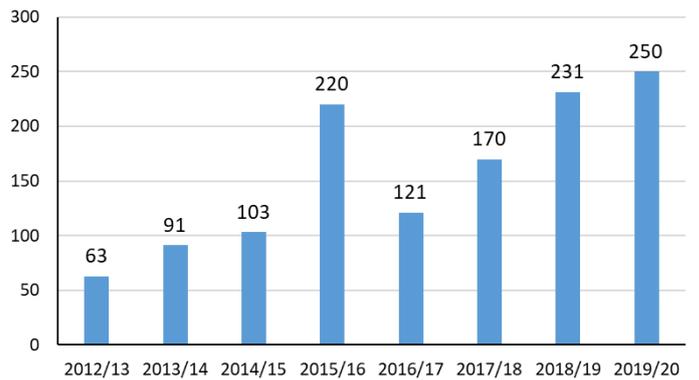
2018/19年シーズン 週別入院患者数の推移



インフルエンザによる入院患者の年齢階級別比較



(名) シーズン別インフルエンザ脳症報告数推移(全国)



保健所別報告患者数 2020年 16週(定点把握)

(2020/04/13～2020/04/19)

2020年4月23日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	8	0.10	-	-	6	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.20
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	6	0.11	2	0.14	2	0.18	-	-	-	-	1	0.25	-	-	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	0.69	18	1.29	7	0.64	2	0.20	-	-	1	0.25	3	1.50	6	1.00
感染性胃腸炎	136	2.52	56	4.00	18	1.64	19	1.90	3	0.43	11	2.75	6	3.00	23	3.83
水痘	5	0.09	3	0.21	-	-	-	-	1	0.14	1	0.25	-	-	-	-
手足口病	3	0.06	2	0.14	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	7	0.13	4	0.29	-	-	3	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	16	0.30	7	0.50	6	0.55	1	0.10	2	0.29	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	10	0.19	2	0.14	1	0.09	1	0.10	1	0.14	1	0.25	-	-	4	0.67
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2020年 16週(発生レベル設定疾患)

(2020/04/13~2020/04/19)

2020年4月23日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	8	0.10	-	-	6	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.20
咽頭結膜熱	6	0.11	2	0.14	2	0.18	-	-	-	-	1	0.25	-	-	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	0.69	18	1.29	7	0.64	2	0.20	-	-	1	0.25	3	1.50	6	1.00
感染性胃腸炎	136	2.52	56	4.00	18	1.64	19	1.90	3	0.43	11	2.75	6	3.00	23	3.83
水痘	5	0.09	3	0.21	-	-	-	-	1	0.14	1	0.25	-	-	-	-
手足口病	3	0.06	2	0.14	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	7	0.13	4	0.29	-	-	3	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	10	0.19	2	0.14	1	0.09	1	0.10	1	0.14	1	0.25	-	-	4	0.67
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2020年 第16週 2020/04/13～2020/04/19)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	8	-	-	1	1	1	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	1	-	-	1

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	6	-	-	2	-	2	1	-	-	-	-	1	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	1	1	1	2	4	6	6	3	2	4	1	2	1	3
感染性胃腸炎	136	1	10	12	15	12	10	7	10	7	5	6	17	5	19
水痘	5	-	-	1	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	
手足口病	3	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	7	-	-	-	2	-	1	4	-	-	-	-	-	-	
突発性発疹	16	-	5	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	10	-	-	1	-	3	1	2	2	-	1	-	-	-	

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

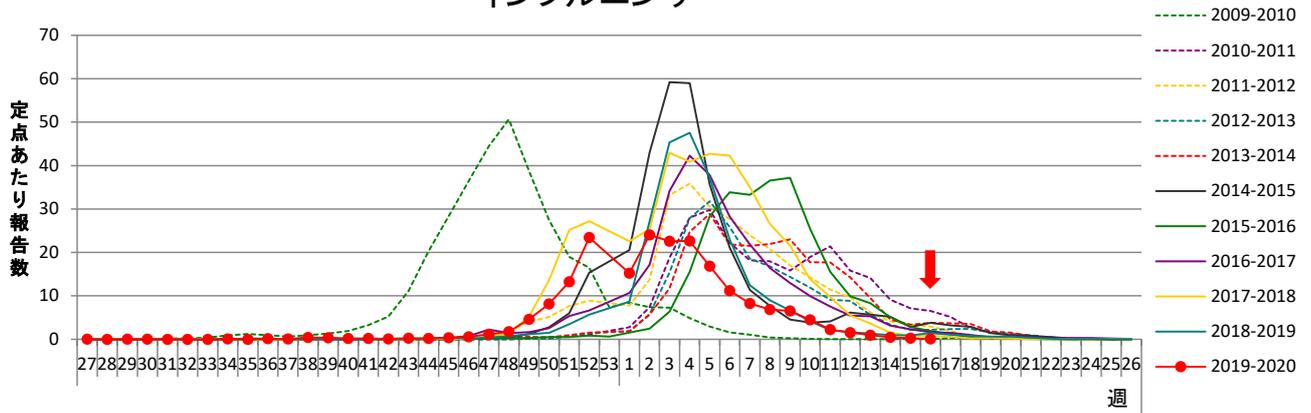
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

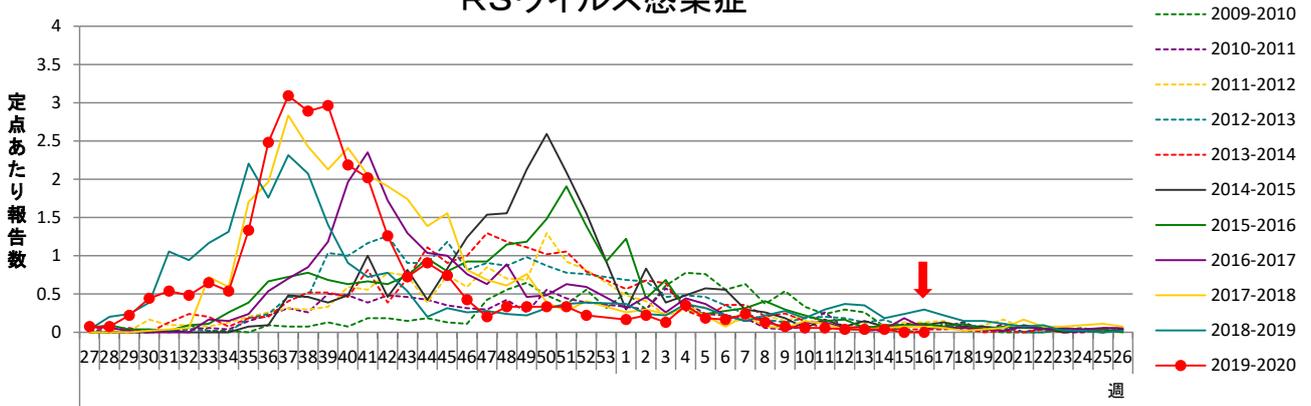
2020年 16週

分類	疾病名	2020		2019	疾病名	2020		2019	疾病名	2020		2019
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	4	75	303	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-	新型コロナウイルス感染症(指定感染症)	4	19	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	4	腸管出血性大腸菌感染症	-	8	61
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	1	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	1	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	-	1
	エキノコックス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	-	3
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	1	3
	デング熱	-	-	7	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-	日本紅斑熱	-	-	3
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	ポツリヌス症	-	-	1	マラリア	-	-	-
	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	1	リッサウイルス感染症	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	-	31	57
	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	9	14	ウイルス性肝炎	-	-	12	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	-	9
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)		-	-	2	急性脳炎	-	3	19	クリプトスポリジウム症	-	-	-
クロイツフェルト・ヤコブ病		-	-	5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	1	6	後天性免疫不全症候群	-	7	10
ジアルジア症		-	-	-	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	1	4	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
侵襲性肺炎球菌感染症		-	6	45	水痘(入院例に限る。)	-	2	9	先天性風しん症候群	-	-	-
梅毒		-	51	190	播種性クリプトコックス症	-	1	1	破傷風	-	2	3
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	3	百日咳	-	68	428
風しん		-	1	3	麻しん	-	-	-	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

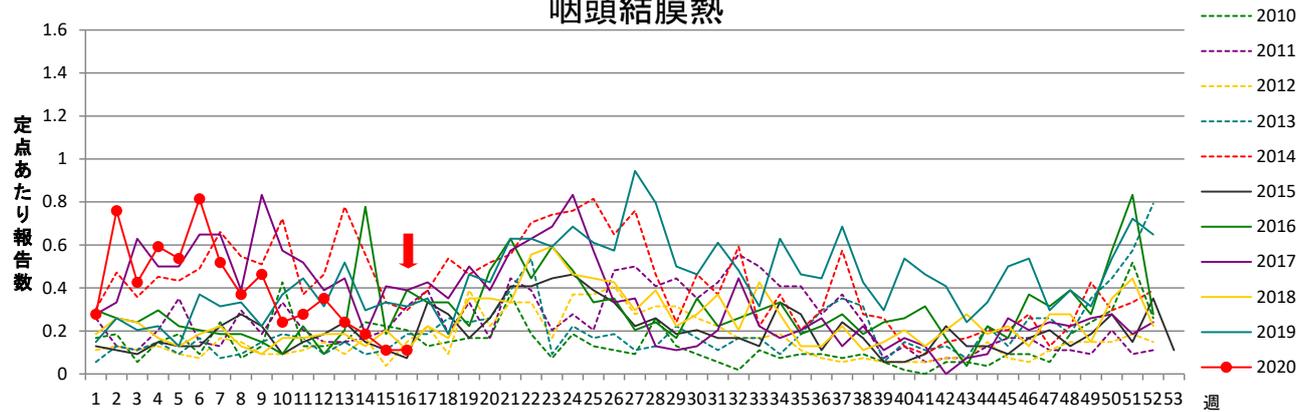
インフルエンザ



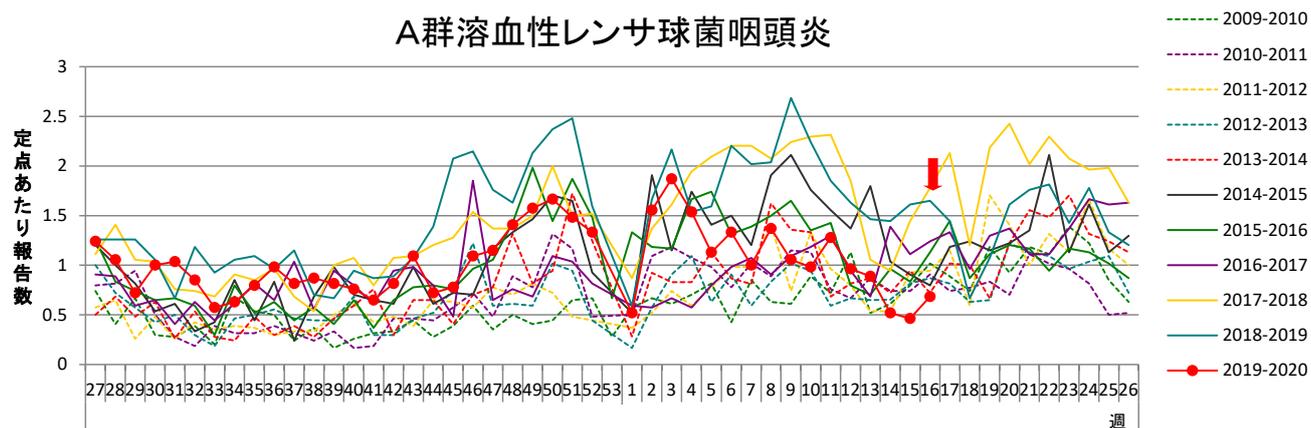
RSウイルス感染症



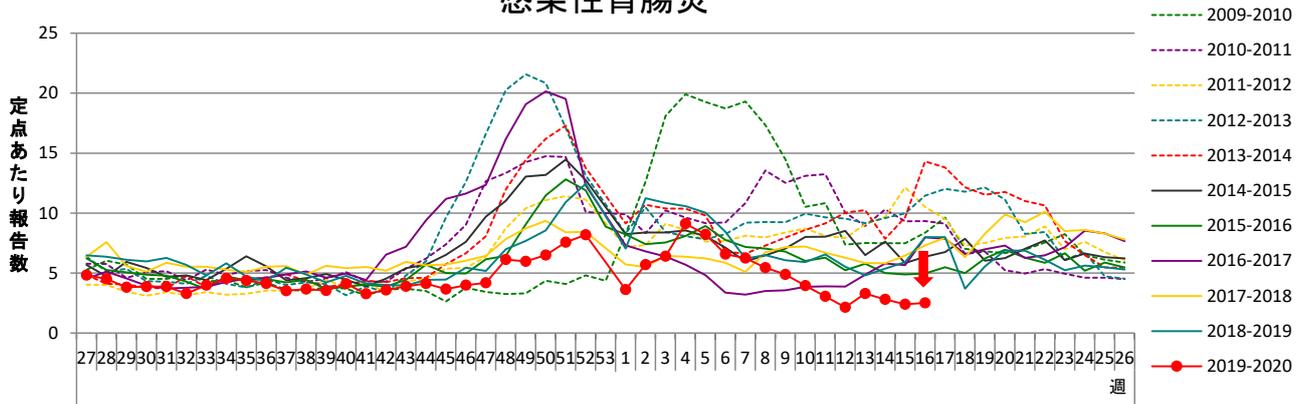
咽頭結膜熱



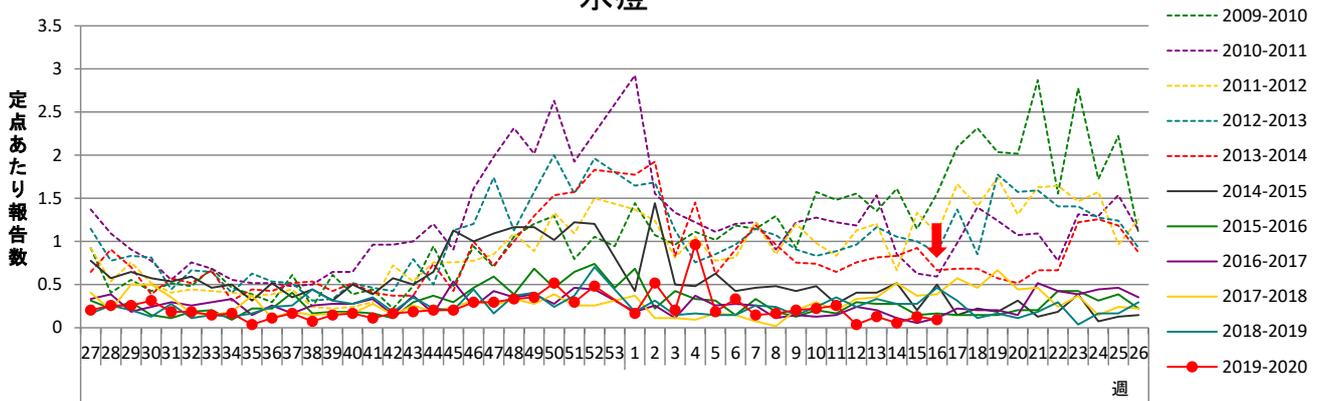
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



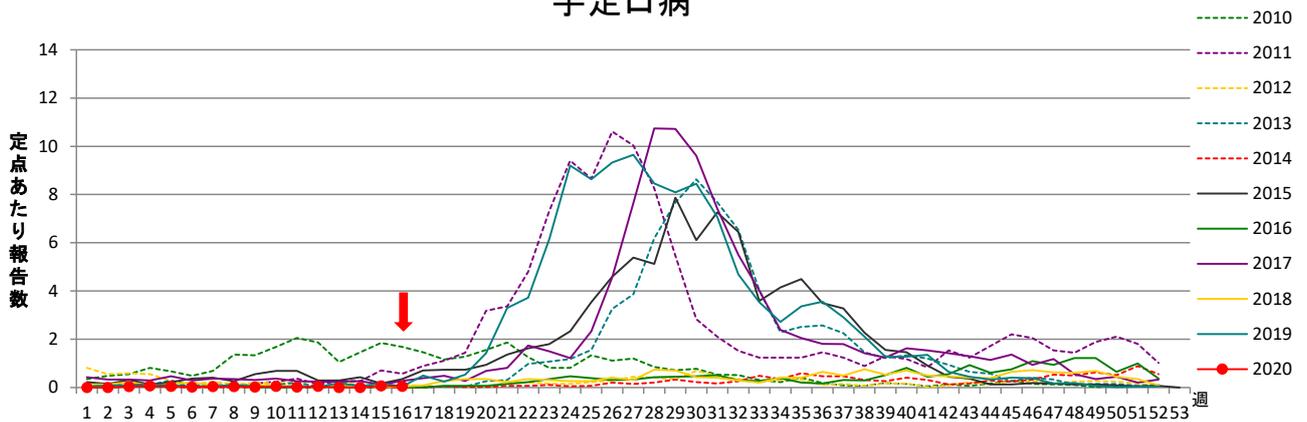
感染性胃腸炎



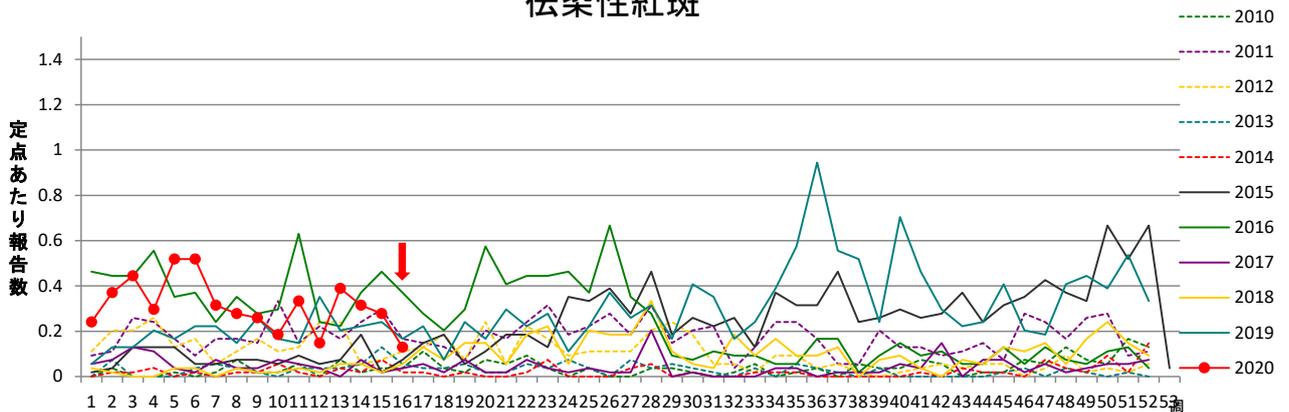
水痘



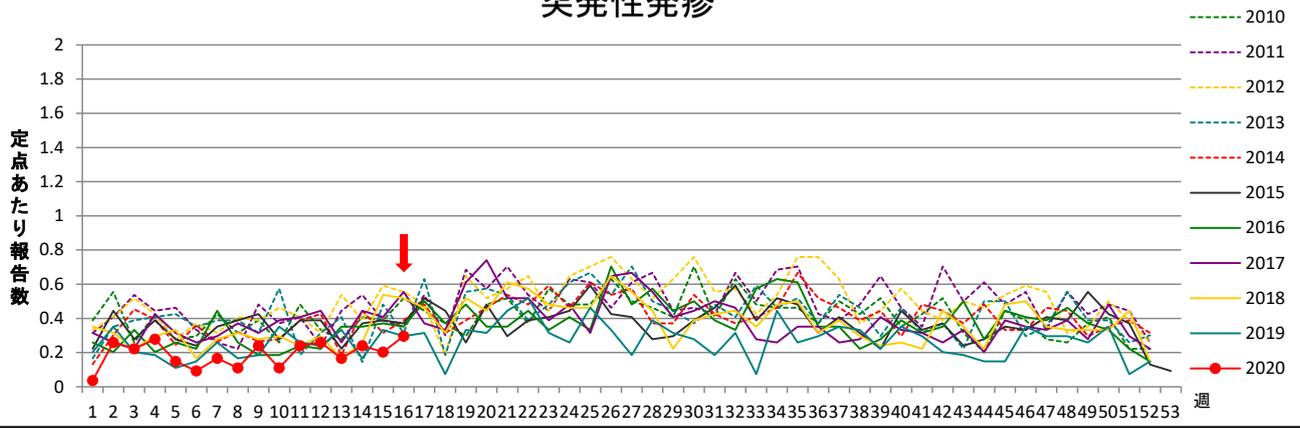
手足口病



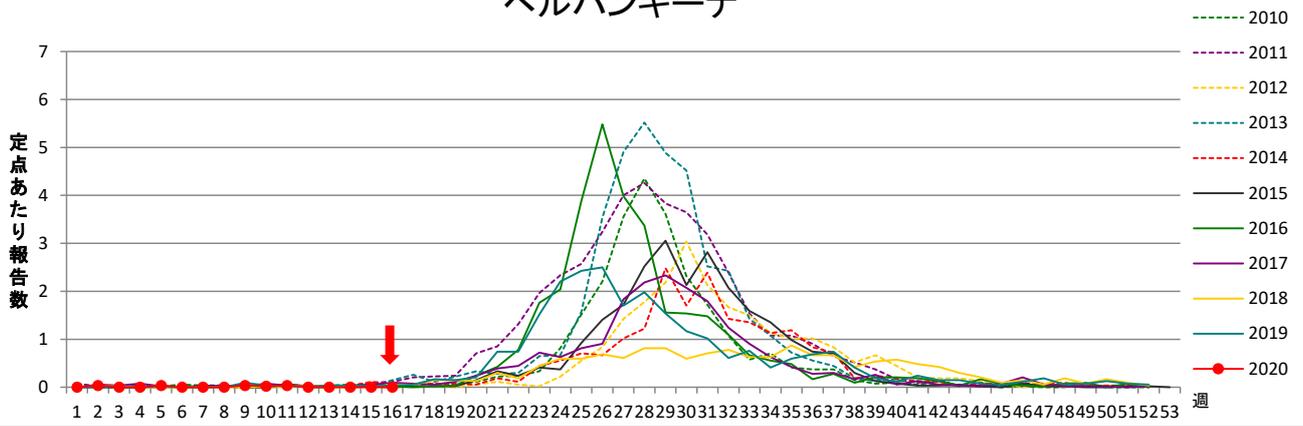
伝染性紅斑



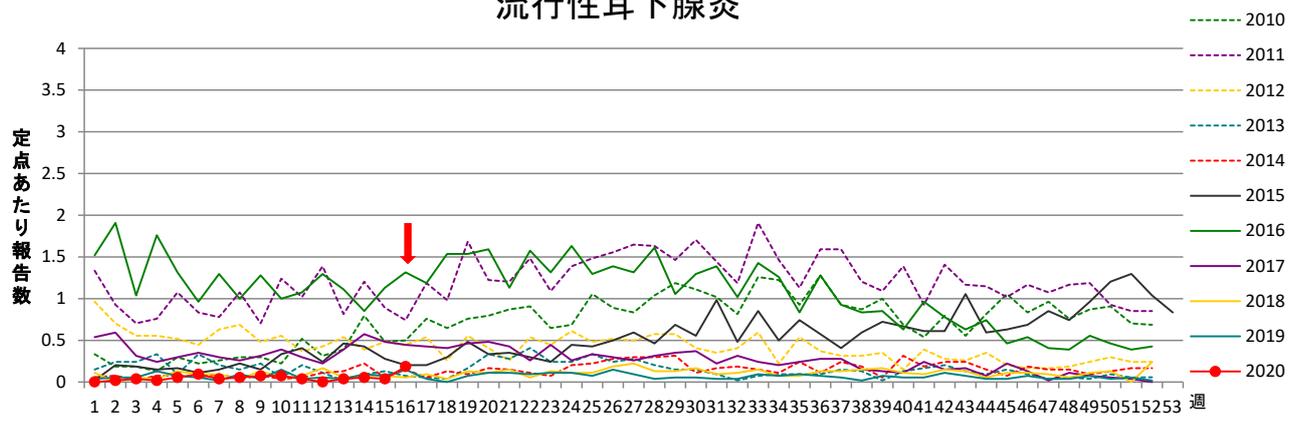
突発性発疹



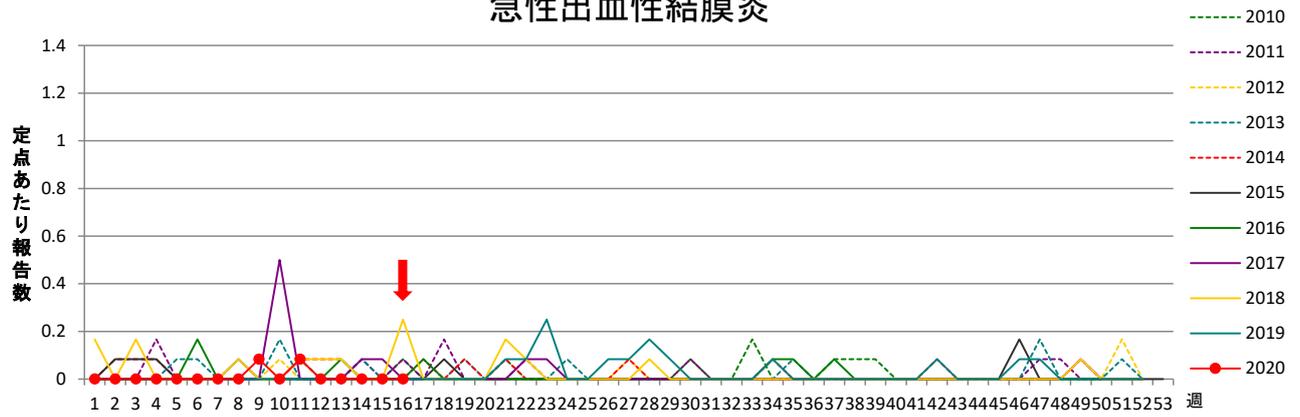
ヘルパンギーナ



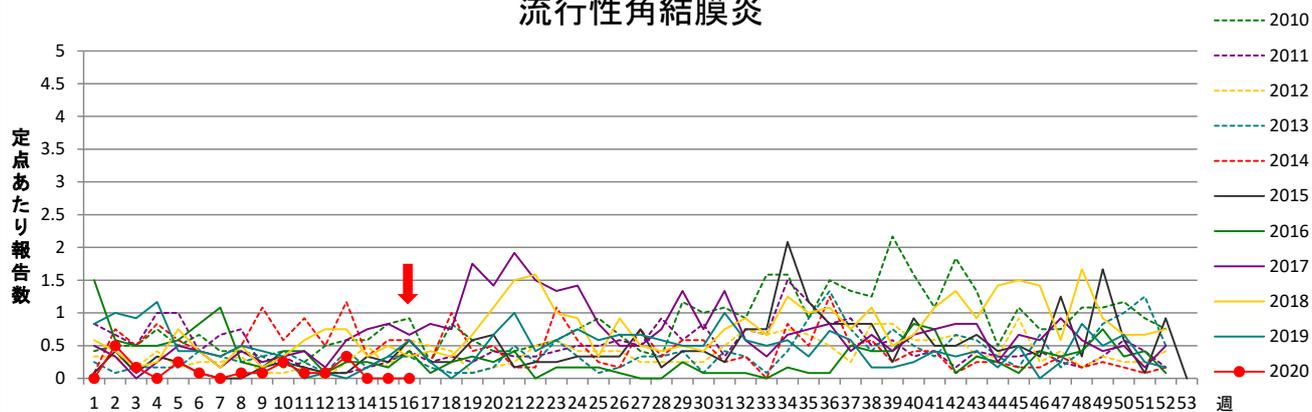
流行性耳下腺炎



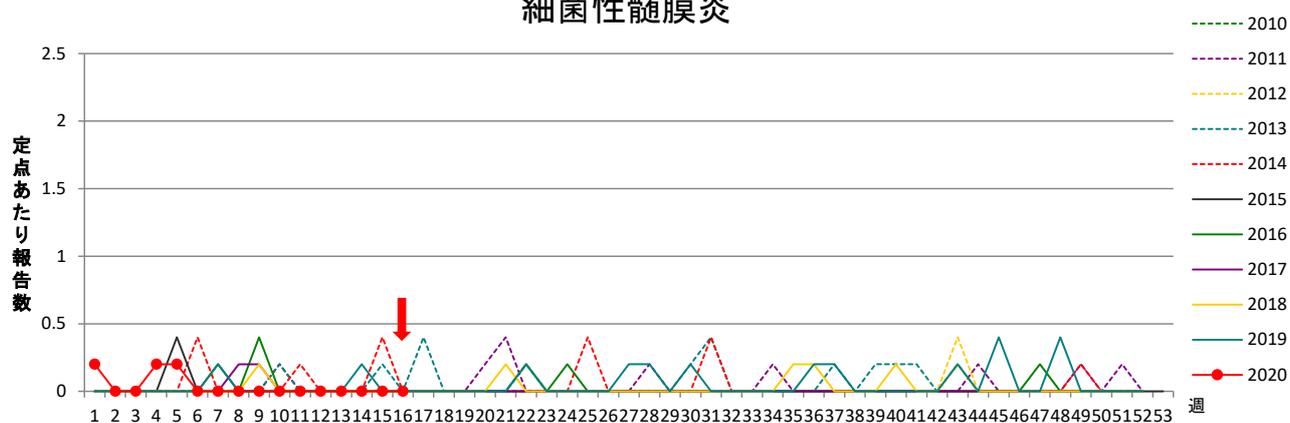
急性出血性結膜炎



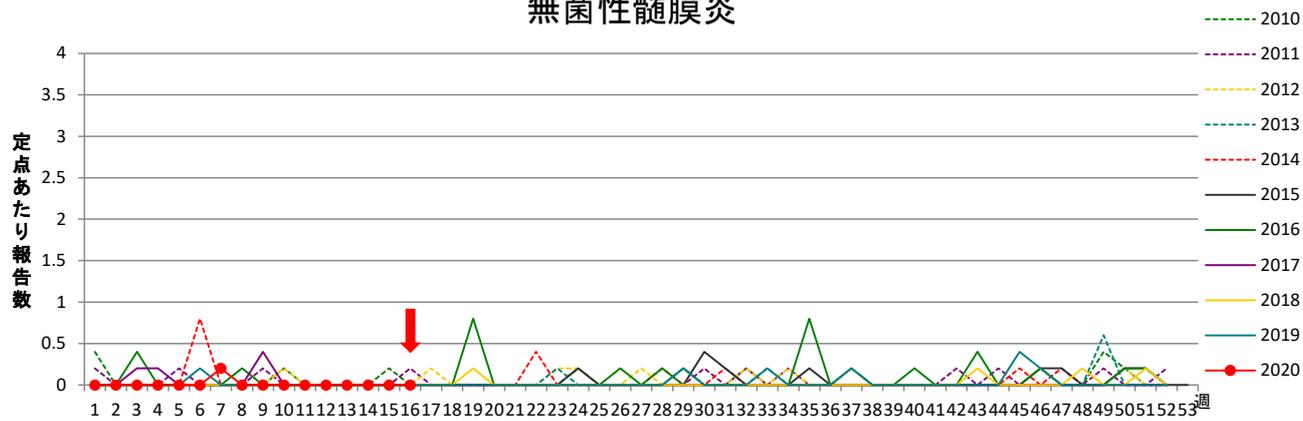
流行性角結膜炎



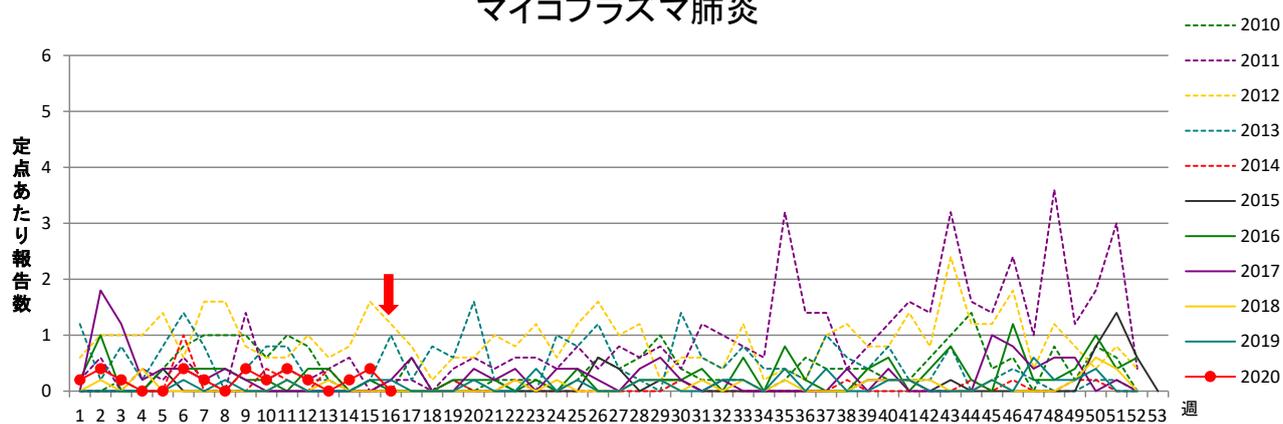
細菌性髄膜炎



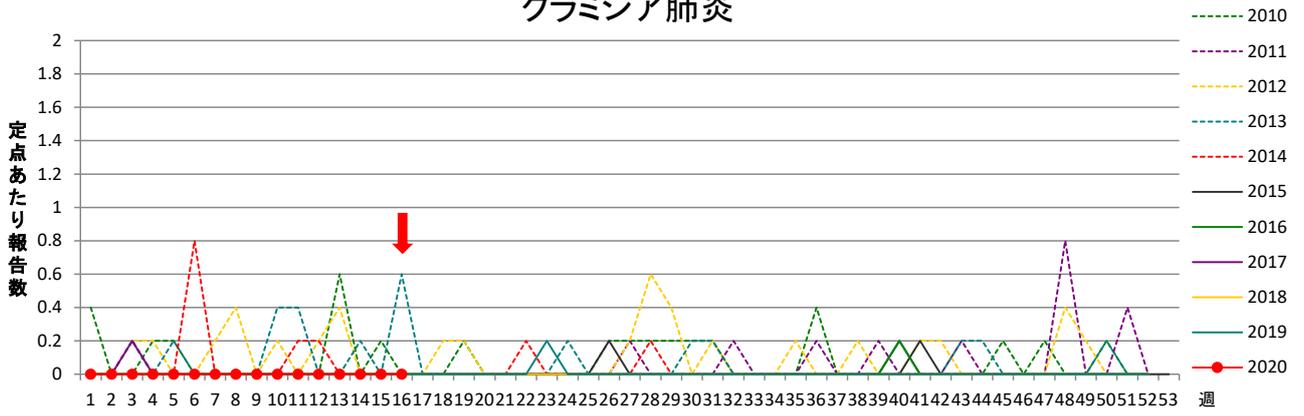
無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

